

3月25日、川崎市立体育館で武魂杯が行なわれました。
横浜北支部から多数の入賞者が出ましたので紹介します。
なお、本レポートは新横浜道場、オアフ道場、仲町台道場の入賞者のみ掲載しております。

全日本ウェイト制選抜 中量級
準優勝
藤田圭亮



前回の武魂杯で優勝した藤田選手は得意のラッシュ攻撃で今大会も決勝まで進出。
決勝の相手は同支部センター北道場の大谷選手。
一進一退の攻防を繰り広げながら、延長戦で惜しくも敗退。
この屈辱は故郷である大阪で晴らしてくれるに違いない。

幼年男女 重量級
第3位
松本巨輝



前回の大会で負傷欠場した悔しさを試合で爆発させた。
幼年とは思えない体のサイズから繰り出される技は威力十分。
更に経験を積み、全国区でも通用するに違いない。

小学1年生男子 軽重量級
第3位
赤平真一

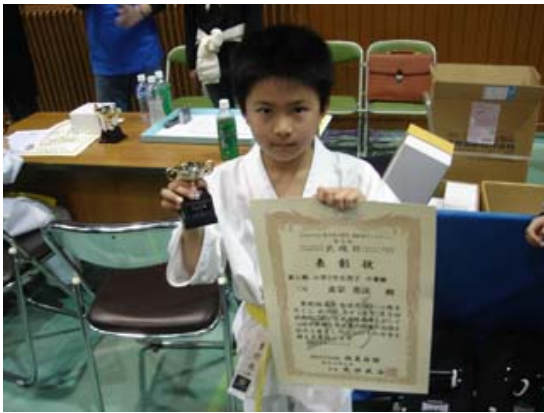


試合初挑戦でいきなりの3位入賞。
稽古時に先輩が相手でも臆せず向かって行く負けん気の強さが試合でも発揮された。
1,2回戦とも自分より大きな相手に真っ向勝負で勝利し、大器の片鱗を見せた。

小学2年生 中量級

第3位

貞宗亮汰



前大会と同じく3位に連続入賞。
上段ばかり狙いすぎていた前回と違い、突き技がパワーアップされていた。
コツコツと地道に稽古を積んでいるので、次回は更に上位を狙えるだろう。

小学4年生男子 軽量級

第3位

廣谷光匡



入門して数年間、試合出場を拒んできた廣谷選手が初出場で3位に入賞。
自分より級が上の選手と臆することなく戦って勝利する姿は応援する人達を感動させた。
数年前とは別人のように心も身体も強靱になった彼がそこにいた。

小学4年生女子
第3位
金子 渚



道場内で実力を認められながら結果がでていなかった金子選手が3位に入賞。
類稀な基礎体力から繰り出される攻撃はどの技も威力十分。
技の正確性さえ身につけば、今すぐにでも全国区で通用する力を秘めた選手だ。

中学生男子
第3位
バシル フザイファ

数年間試合から遠ざかっていたバシル選手が復帰戦で入賞を飾った。
普段から1ラウンド5分単位で練習を重ねる無尽蔵のスタミナは驚異的。
技に威力が付けば誰も止めることはできないだろう。

✕ 閉じる